



ひろせ けいすけ
広瀬 慶輔です
 No.31

今年の夏は地域のお祭りに参加させていただく予定をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、その多くが中止となってしまいました。また、大阪府の「医療非常事態宣言」を受けて、私自身も非常に楽しみにしていた「寝屋川まつり」も中止となりました。本当に残念です。来年こそは「寝屋川まつり」を含む夏のイベントが開催され、活気あふれる夏となることを願ってやみません。引き続き、基本的な感染症対策を行いながら、秋を楽しみましょう。

未来の政治家との 素敵なひととき

九州の中学生の女の子から、将来、政治に携わる仕事がしたいので私とお話したい、とのお手紙をいただき、女の子とそのお母さんとお話をしました。

彼女のすごいところは、小学校の卒業文集において、「国のために力を尽くしたい」「自分の育った町や国をより良くしたい」という目標を明確にし、そのために何をすべきかを理解していることです。

今回の対談では、私が高校時代に市長を志した時のことや、その実現に向けて大学院でどのような研究を行ってきたのかなどをお話させていただきました。



対談を終え、過去の自分と重ね合わせるとともに、新たな気持ちで日々、挑戦していかなければ、と私自身も刺激を受けました。

日本の女性議員の割合は世界でもかなり低い水準です。今回の対談がきっかけとなり、彼女が良い政治家になれると先輩としてはうれしいですね。

寝屋川のまちを ぶらり旅



毎年、恒例となっているJ:COMチャンネルの番組「長(ちょ〜)っと散歩」の撮影に行ってきました。今回は

摂南大学の学生オススのベル大利商店街のお店で食べ歩きをしたり、新開祥子さん(写真左)と盆踊り対決をしたりしてきました。

また、スタッフの皆さんから素敵なタルトをいただきました。プレートが勿体なく、なかなかタルトにフォークを入れることができませでしたが、おいしくいただきました。

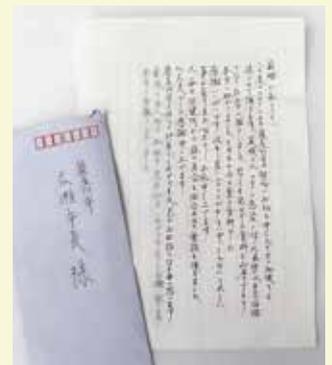


ちなみにですが…このタルトのプレートは番組内のインタビューの内容に沿ったものになっていました。気になった方は是非、番組をチェックしてみてくださいね。

感謝の手紙に、感謝します

先日、暑い中、90代と80代のご夫婦がわざわざ市役所まで足を運んでお手紙を届けてくださいました。そこにつづられていたのは、

「家族三人コロナに感染し、外出禁止・自宅待機となり非常に困ってました。思っても見なかった食料をお届け下さり本当に助かりました。感謝いっぱいです」
 「毎日、保健所から体の具合について電話も頂き、心丈夫でした。感謝申し上げます」
 「寝屋川市に住んで59年、これからもよろしく願います」



といった、感謝の気持ちでした。このようなお手紙をいただくと、職員の日々の頑張りが報われますし、私も大変誇らしい気持ちになります。貴重な時間を使ってお気持ちを伝えてくださったことに、私からも感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

